

○ミッドペリック【L】腹膜透析液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 【分類】腹膜透析液

【単位】○135 (ブドウ糖 1.35%), ○250 (ブドウ糖 2.50%), ○400 (ブドウ糖 4%) [1L, 1.5L, 2L, 2.5L]] それぞれ 2.5L まではシングル、ツイン

【常用量】

【用法】

【透析患者への投与方法】必要除水量および注入可能量によりブドウ糖濃度と容量を使い分ける (1)

【特徴】Ca 2.5mEq/L, Mg 0.5mEq/L の腹膜透析液で高 Mg 血症や代謝性アシドーシスの改善が不十分で、かつ炭酸 Ca 製剤や活性型ビタミン D 製剤の投与により高 Ca 血症をきたすおそれのある場合に用いる。従来の腹膜透析液の pH は浸透圧剤として配合されているブドウ糖の分解を防ぐため 4.5~6.0 の低 pH 領域に調節されている。低 pH 透析液は好中球、マクロファージの機能を抑制し、腹膜中皮細胞に影響を及ぼすことから、腹膜免疫能や腹膜機能の維持に悪影響を及ぼす可能性がある。本剤は 2 室容器によってペリトリック L の成分を隔壁で分割することによってブドウ糖の安定性を保ちつつ、使用時に隔壁を開通し、混合することで中性付近 (pH6.3~7.3) になる CAPD 用透析液である。バッグにはポリプロピレンを採用しているため可塑剤の影響がなく、環境負荷も少ない。L は low Ca (2.5mEq/L) を示している。

【主な副作用・毒性】

【F】

【tmax】

【更新日】20121208

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。